

彦根市教育委員会会議録

会議の日	令和5年7月27日(木)
会議場所	彦根市役所本庁舎5-1会議室、5-2会議室
出席委員等 5人中 5人出席	教育長 西嶋 良年 教育長職務代理者 本田 啓子 委員 小松 照明 委員 永濱 隆 委員 田附 孝子
出席職員 (説明員)	教育部長 前川 学 教育部次長(教育総務課長) 小島 久喜 子ども未来部次長(幼児課長) 前川 昌敏 副参事(博物館副館長、学芸史料課長) 渡辺 恒一 学校教育課長 東野 了賢 学校教育課主幹 井上 崇子 学校ICT推進課長 北川 尚樹 学校支援・人権・いじめ対策課長 小磯 浩司 生涯学習課長 小椋 朋子 生涯学習課主幹 林 宏 博物館管理課長 野村 雅之 教育研究所長 清水 貴博 学校給食センター所長 今井 和宏 図書館長 田中 淑介 図書館主幹 鈴木 康浩 広野教育集会所長 中江 淳展
会議次第	
1 開 会	午後1時30分
2 議 題	内 容 なし(報告事項等のみ)
3 その他	内 容 別添のとおり
4 閉 会	午後2時02分

1 開 会

教育長 ただ今から教育委員会会議を開会します。

本日提案している議題は、ございません。

本日の議事の進行につきましては、「教育長報告」の後、1件の報告事項を説明させていただきます。その後、「次第4 各所属の取組事項について」の質疑を行い、「次第5 その他」で教育委員会の所管事項について、委員からのご質問をいただきます。

本日の議事進行につきまして、ご異議はありませんか。

各委員 なし。

教育長 それでは、まず私から「教育長報告」をさせていただきます。

7月3日月曜日ですが、7月定例校長会議をWeb形式で行い、出席しました。午後から、彦根・犬上地区交通安全対策連絡協議会の通常総会が甲良町公民館で開催されましたので、出席しました。

7月6日木曜日ですが、市議会議員視察が旭森小学校のアクティブラーニンググループを対象としてありましたので、同行して授業参観をさせていただきました。

7月8日土曜日ですが、彦根青年会議所創立70周年記念式典がプロシードアリーナ HIKONE でありましたので、出席しました。

7月9日日曜日、社会を明るくする運動・青少年健全育成彦根市大会がプロシードアリーナ HIKONE でありましたので、出席しました。

7月10日月曜日ですが、河瀬小学校のアクティブラーニンググループの視察を行いました。

7月11日火曜日、第1回彦根市立小中学校働き方改革推進チーム協議会を本庁で開催し、出席しました。

7月15日土曜日、彦根市PTA連絡協議会「お父さんも研修会」が開催されましたので、出席しました。

7月21日金曜日、国スポ・障スポ彦根市実行委員会第1回常任委員会および第2回総会がひこね市文化プラザで開催されましたので、出席しました。

7月24日月曜日ですが、世界水泳選手権に本市出身の大橋悠依選手が参加されましたので、応援パブリックビューイングに参加させていただきました。

7月25日火曜日ですが、彦根市小中学校校長・教頭合同研修会がマリアージュ彦根で開催されましたので、出席しました。

7月27日木曜日ですが、教育委員会会議となっています。

報告は以上です。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

小松委員 先ほどのPTA連絡協議会「お父さんも研修会」ですが、これはPTAの中のどんな活動で、これからどういうふうにやっていこうという目的のために開かれた会議なのかと。PTAというのは、今学校の中で位置付けが難しく、PTAに関心が持てない、PTAに参加したくないというような学校もあるので、PTAをより活性化するため、お父さんも何かしてもらわないということで、どういう内容なのかかなと思ひまして。

教育長 それでは私の方から説明させていただいて、補足がありましたら生涯学習課長の方でお願いしたいと思います。「お父さんも研修会」ということで、タイトルの研修会名になっていますが、PTAの活動に対して、どちらかというとお母さんの方の参加が多くて、お父さんの参加があまりないという課題があるかと思ひます。お父さんにPTA活動に参加をしていただきたいというような、協議会の思ひがあったと思うのですが。

そのようなことから「お父さんも研修会」というテーマになっていると聞いています。

この時の内容については、お子さんも同伴されて、お父さんとお子さんが参加されて、救命救急の実技研修を受けられたということでした。

生涯学習課長 今ほど教育長が説明された内容で問題ないかと思ひます。PTAに関心を持っていただきたいということはPTA連絡協議会で強く思っておられますので、いろいろな方に参加していただきたいというような思ひを持っておられます。「お父さんの」となると、お父さんを限定してしまうことになるので、あえて「お父さんも」というネーミングにされていると、うように伺っています。いろいろな形で、保護者がお子さんに関わっていただくということをねらいとされているのだと思ひます。

2 前回会議録の承認

3 報告事項

教育長 次第3「報告事項」に入らせていただきます。

「中地区公民館および稲枝地区公民館における指定管理者公募の概要について」報告をお願いします。

生涯学習課長から報告がありました。

小松委員 指定管理者の応募について、中地区公民館も稲枝地区公民館も2者の応募があったと説明があったと思うのですが、4年前の時も、この指定管理者の応募は2者ぐらいあったのですか。こういうことに関心が持たれてきて、少し増えてきて、今回2者になったのか、4年前も2者あったのか。

生涯学習課長 先ほど説明した2者というのは、スケジュールの中の現地説明会のことで、最終の申請書類の受付期間は、8月10日までとなっています。正式に応募があったのはまだどこもない状況で、現地説明会に来られたのが2者であったということです。4年前は、最終的な応募としては、それぞれの現指定管理者の1者のみでしたが、中地区、稲枝地区ともに現地説明会を行いまして、2者の参加がありました。

小松委員 今年も2者申請される可能性もあると考えてよいのか。

生涯学習課長 現地説明会を経て、応募されるかどうか判断されることになるので、可能性としてはあると考えています。

4 各所属の取組事項について

永瀆委員 学校教育課の小中学校働き方改革推進チーム会議が7月11日に開催されたということで、「昨年度までの成果と課題、現状と今年度の取組について協議した。」と記載されているのですが、過去どのような成果、課題があったのか。今年も、それを踏まえて、どのように会議を展開していくのか。

学校教育課長 この働き方改革推進チーム会議につきましては、正式には令和3年度から会議を開催しています。教職員が心身ともに健康にやりがいをもって勤務でき、教育の質を高められるように、教職員の出退勤時刻と超過勤務時間の現状や勤務実態に基づいて改善ができないかについて、全市的な取り組み、あるいは各学校の独自の取り組み、この2つの視点について、毎年1回、2回は必ず実施して、年度末に総括をして、その次の年の全市的な取り組みにつなげています。このことによる具体的な取り組み成果としましては、小中学校すべての学校に留守番電話の設置を行ったこと、それから、夏季休業中の学校閉庁期間の延長に向けての取り組みを行っています。

また、今年度につきましては、C4th校務支援ソフトの導入による効果、このあたりを検証していく年と位置付けています。その中ですでに課題として見えてきている中で、各校の取り組みとしてできること、あるいは集まっていたいただいた立場のそれぞれの立場から見えてき

たことを出していただいて、それぞれの学校で実践していただけることを、まず進めていって、12月ぐらいにまた集まって、それを全市的に広げていく方がよいか、いうことを確認した後、年度末に全市的に広げていくということで次の年につなげていくということをしています。特に今年度は、コロナが一段落ついたことによって、コロナ前の姿に戻すことにおいて、その必要性等も十分吟味した中で働き方改革を推進していく視点から、どのようなことが課題となっているとかいうことも、それぞれの立場からご意見いただいたというのが現状です。

永瀆委員 今後2回行われるということで、その都度、ある程度具体的な内容を教えてください。

小松委員 今の関連ですが、この働き方改革については、政府も先生の固定残業、その残業代も見直していかないといけないとか、先生に対する待遇改善を要するとか、そういう見方がないとなかなか働き方改革にならないのではないかと。私はマスコミからしか数字で知らないですけど。そういうことは、学校の現場の方まで、降りてきているのですか。学校現場の意見を、何か政府が取り入れようとしているとか。

学校教育課長 ご質問いただいた点については、文部科学省が、全国の教職員働き方改革にかかる実態調査というのを定期的に行っていきまして、それが昨年度令和4年度に大きな項目すべてで行われました。その結果が集約されている中で、平均的に毎月45時間を超える超勤をしている者が何%いるとか、過労死ラインと言われる80時間を超える者が、小学校で何%、中学校で何%と出ていました。それは、もちろん国の調査だけではなく、県でも行っていますし、本市でも集約していますので、そういうのを考えると、彦根市においては国の平均を上回る場所が見られるところがあり、改善していくための取組みを進めています。先ほどお伝えした通り、その取組みを進めていく中で、学校の教職員が教育に、心身ともに健康で向き合うためには、時間を有効活用していく視点とか、他職種の方に、地域の方も含めて、学校現場に入っていただく視点というのが欠かせないというのが、昨年度の総括から出ていましたので、それについては、市から県、県から国の方にも要請している状況です。

田附委員 中学校生徒会交流会「彦根 虹のかけ橋プロジェクト」について、もう少し詳しく、どのような共通の取組みが決まったとか、教えていただきたい。

学校支援・人権・いじめ対策課長 「虹のかけ橋プロジェクト」ですが、市内の中学校生徒会の子どもたちが集まって、今年は、学校の1人1台端末を使って、何かできないかというところで、子どもたちの意見を合わせながら、共通でこんなことできたらいいねということで、

話し合いを進めました。今後各学校で取組を進めていくわけですが、話し合いの中から出てきた取組を幾つか申し上げたいと思います。

例えば、標語を募集してコンテストを行うとか、「虹のかけ橋プロジェクト」に関するホームページを作って何か発信するとか、また、授業等で使えるいじめ防止に関するスライドを作るとか、また動画作成とか、いじめ防止に関して何かクイズを作り、それを小学校の子どもたちにしてもらったらどうかということも出ていました。また、中学生の子どもたちが小学校に出向いて授業を行ったらどうかなど、柔軟な発想がたくさん出てきて、私もその場において、参考になりましたし、勉強にもなりました。

5 その他

小松委員 以前、その他では、事前に質問内容を連絡しなさいとなっていたと思うのですが、今回事前質問の準備はしていないので、もし答えられなかったら、来月でも結構です。最近話題になっています生成 AI です。これについての学校教育上の活用、文科省からもこういう方向に使ったらよいのではないかと出ていますし、夏休みの活用方法として、自由研究でこんなこともできるとか、いろいろテレビでやっているのですが、今、彦根市の実態として、生成 AI の活用というのが、実際どのような扱いをされているのか。正直、私は使ったことがないですし、質問をしたこともないので、全くわからない。しかし、学校現場では一部使われているようなことが書いてあるし、いろいろな禁止事項もあるということで、彦根市のこれに対する活用について、どう考えているのかというのを今でなくてもよいので、次の会議でも結構ですので教えて欲しいなど。今わかっているならば、今わかっている段階で結構です。

学校教育課長 年度当初に学校教育においては、まずはその基礎となる学習を進めていくことの中で、生成 AI については様々な考えの中の一つとして、それを参考にして自分たちの考えをより深める場合や、新たな視点を設けるときに活用していければという程度で、生成 AI を 1 番に取り組むという考えではないということをお話させていただいたと思います。その後、国の方でも動いている中で、夏休み前になり、文科省の方から、夏季休業中の課題を作成する際に、子どもたちがそれをそのまま写すことがないようにという通知がありました。学校現場の方には、この生成 AI をうまく活用するのがよいですが、インターネット上の記事をそのまま鵜呑みにしたようなものとか、読書活動の読書感想文のコピーとかがないようにと、

以前から話をしていましたので、そのこともあわせて文科省通知がありましたので、学校現場にお伝えしています。

小松委員 ということは、今現在、彦根市の教育委員会の中では、生成 AI に対するいろいろな取り組みとか、トライはまだされていないと、今は考えてよいのでしょうか。

学校教育課長 はい。まだ研究段階とか、先生方がどのような活用ができるかということ、功罪両方とも含めて見ていただいていると。その中で良いということになっていけば、活用していただければというふうに思っています。

教育長 また本市の活用状況については、確認をして、また次回の教育委員会等で報告できればお願いをしたいと思います。

永瀆委員 質問は今回出していないのですが、以前、去年の年度末 2 月、3 月の会議で、休日のクラブ活動について、民間を利用したという議題があったと思います。それから約半年ぐらい経つのですが、進行状況とか、どういう方向性がついたのかとか、次回の報告の中で教えていただければと思っています。

教育長 以上で本日の会議を閉会します。

8 月の会議は、8 月 31 日木曜日、午後 1 時 30 分から本庁舎 5 階 5-1、5-2 会議室で開催します。皆さんお疲れ様でした。